

【電子版】



2025年 第24号 2025年11月12日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



交通運輸労働者の労働条件改善を

11・6中央行動

国交・厚労・経産省へ個人請願おこなう

交運共闘は11月6日、憲法改悪阻止、戦争法・共謀罪法廃止、国民本位の交通政策実現、規制緩和反対、交通運輸労働者の労働条件改善を求める、11・6中央行動を実施し、全体で約300人が参加しました。



11・6中央行動を実施＝11月6日、東京・国土交通省前

午前10時から国土交通省への個人請願行動を開始。開会あいさつで交運共闘の高城政利議長は、直近の政局や「交通運輸労働者は、どの分野においても国民の生活を支える重要な仕事をしています。そうした私たちの労働条件改善はまったなしの状況です」とし、「そのための財政予算を早期に確保し、国土交通行政が本来果たすべき役割をじゅうぶんに発揮するように交運共闘として求めたいと思います」と発言しました。

続いて、全労連の五十嵐健一常任幹事、日本共産党の堀川あきこ衆議院議員が連帯あいさつをしました。

地方名	自交総連の提出署名数		
	国交省	厚労省	経産省
北海道	162	154	167
東北	70	69	70
埼玉	192	192	192
東京	2620	2561	2601
神奈川	170	170	170
山梨	3	5	7
静岡	48	48	47
関西	119	107	106
山口	12	12	19
高知	13	14	11
福岡	35	35	35
大分	30	30	30
長崎	13	13	14
鹿児島	19	18	18
合計	3506	3428	3487

徳永昌司幹事が請願書を読み上げ、参加者一人ひとりが国交省の係官に請願書を手渡ししました。

自交総連の庭和田裕之中央執行委員長は決意表明で、「ライドシェアは簡単に言えば白タク。国交省主導で日本版・公共ライドシェアをすすめています。タクシーが足りないなら白タクでいいという施策は、国民の安心・安全は二の次でいいと言っているに等しいと思います」と問題提起し、「タクシーには百年以上の歴史があります。不遇な時代もありましたが、行政・利用者・労働者が奮闘してきたことで世界に誇れる日本のタクシーになりました。それを潰していいのでしょうか。一度壊れたものは二度と元には戻りません」と訴えました。

建交労の鈴木正明書記次長、検数労連の高木正一中央書記長、海貨労協の三宅洋事務局長、国交労組の青柳雄大中央執行委員が続ぎ、シュプレヒコールで行動を終わらせました。

その後、厚生労働省、経済産業省にも同様に請願提出をおこないました。

自交総連の代表は、午後1時から国交省、3時15分から全タク連と交渉をおこないました（詳細は別号）。



請願書を提出する様子＝（上）国土交通省、（中央）厚生労働省、（下）経済産業省